

会 告

2024 年度春季大会（第 60 回通常総会・第 59 回講演会）開催について

1. **会場** 東北大学青葉山新キャンパス「青葉山コモンズ」
（仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1）
2. **期日** 2024（令和 6）年 3 月 22 日（金）～24 日（日）
 - ・理事会 3 月 22 日（金）12 時～：第 3 講義室
 - ・評議員会 3 月 22 日（金）15 時～：第 3 講義室
 - ・講演会 3 月 23 日（土）9 時～：第 1, 2 講義室
3 月 24 日（日）9 時～：第 1, 2 講義室
 - ・ポスターセッション（優秀学生賞選考）3 月 23 日（土）9 時 30 分～（コアタイム 10 時 30 分～）：
2 階ロビー
 - ・総会・学会賞表彰式・受賞講演 3 月 23 日（土）13 時～：大講義室（翠生ホール）
 - ・テーマセッション 3 月 23 日（土）15 時～：大講義室（翠生ホール）
 - ・研究交流会 3 月 23 日（土）17 時 30 分～：Café & Restaurant Buddy's Table（会場内）
 - ・スキルアップセミナー 3 月 24 日（日）昼休み 編集委員会主催の論文執筆に関するセミナーを計
画中。ベテラン研究者より、論文構成、タイトル表現、図表の書き方等について具体例を紹介し、討
論予定。詳細は春季大会の HP で案内します。
3. **共催** 東北大学
4. **大会運営委員**
 - ・委員長：関矢博幸（農研機構）
 - ・委 員：国立卓生、冠秀昭、金井源太、好野奈美子、田邊大、兒玉巽（農研機構）、星信幸（JA 全農）、
今野真輔（山形大学）、千葉克己（宮城大学）
 - ・事務局：農研機構東北農業研究センター 冠秀昭
〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平 4
電話：019-643-3535 E-mail：meeting@jsfwr.org
5. **講演申込み・講演要旨原稿および講演要旨概要原稿送付要領**
 - (1) 学会ホームページ（<https://jsfwr.org/>）から、講演申込フォームに必要事項を記入するとともに、原稿作成要領によって、①講演要旨原稿（農作業研究第 59 巻別号掲載用）、②講演要旨概要原稿（農作業研究第 59 巻第 2 号掲載用）を作成し、送信して下さい。締切は 2024 年 1 月 29 日（月）必着です。
 - (2) 講演要旨の筆頭者および講演会での発表者は本会会員であることが必要です。会員でない場合は、講演申込みまでに入会手続きをして下さい。入会手続きについては学会ホームページをご覧ください。
 - (3) 優秀学生賞はポスター発表を行った学生会員から、選考委員の審査により選出します。応募する場合は後述の「優秀学生賞の募集について」をご覧ください。
6. **講演について**
 - (1) 講演は 1 課題 15 分（発表 12 分、質疑応答 3 分）です。
 - (2) 講演には PC（各自持込）のみ使用可能です。プロジェクターのケーブル（D-Sub15 と HDMI）は事務局で準備しますが、講演時の接続も含め各自で対応願います。
7. **参加費**
 - ・大会参加費：4,000 円（講演要旨集 1 部を含みます。講演要旨集の追加購入は 1 部 1,500 円です、）
 - ・終身会員および名誉会員の大会参加費は無料です。
 - ・研究交流会参加費：4,000 円

- ・参加費等の代金は当日、受付でお支払い下さい。なお、代金の振込口座の準備ができ次第、学会ホームページまたはメールにてお知らせしますので、事前に振込でのお支払いも受け付けます。
- ・領収書の指定等がある場合は事前にメールで事務局に連絡して下さい。

8. 参加申し込み要領

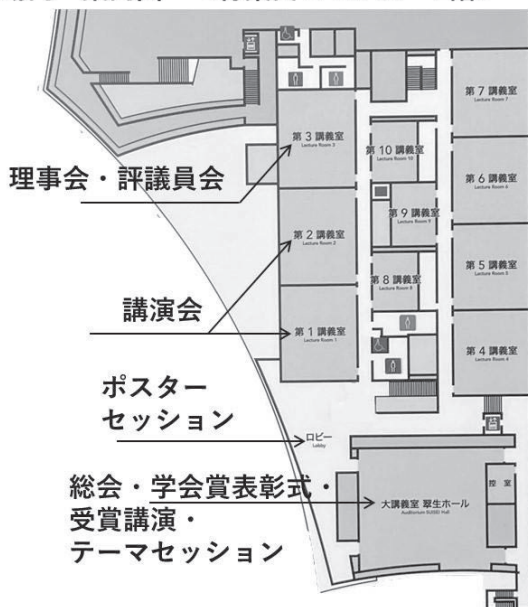
- ・大会参加申し込みは、学会ホームページから2024年2月29日（木）までに申込願います。

9. 大会会場のご案内

- ・所在地：〒980-8572 仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1
- ・キャンパスマップ：https://www.tohoku.ac.jp/map/ja/?f=AY_J41
- ・交通案内：地下鉄東西線「仙台駅」から東西線「八木山動物公園」行きに乗車し、「青葉山駅」下車、南出口より徒歩約5分



会場内 案内図 <青葉山コモンズ 2階>



10. 宿泊案内

- ・宿泊については各自でご予約ください。

11. その他

本大会は対面開催とします。オンライン開催またはオンラインを加えたハイブリッド開催は予定しておりません。

講演および参加申し込みは学会ホームページからお願いします。

講演申し込み締切 1月29日（月）

講演要旨原稿、講演要旨概要原稿提出締切 1月29日（月）

大会参加申し込み締切 2月29日（木）

学生会員および指導教員の方へー優秀学生賞の募集についてー

表彰委員会

日本農作業学会 2024 年度春季大会（東北大学）において、大会の活性化と優れた学生会員の学会活動の継続を促すことを目的に、優秀なポスター発表を行った学生会員に対し、日本農作業学会長名で優秀学生賞を授与いたします。本賞は、講演要旨とポスター発表で評価・審査されます。本賞に応募される学生会員は、学会ホームページ（<http://www.jsfwr.org/>）から、講演申込フォームに必要事項を記入し、優秀学生賞の欄で「応募する」をチェックして下さい。講演要旨は、原稿作成要領に従って作成し、講演要旨原稿（農作業研究第 59 巻別号掲載用）と、講演要旨概要原稿（農作業研究第 59 巻 2 号掲載用）を、2024 年 1 月 29 日（月）までに学会 ホームページ から送付して下さい。また、ポスターは以下の通り準備して下さい。

なお、本大会は 2024 年度春季大会であるため、2024 年度も引き続き本学会会員である必要があることを申し添えます。学生会員におかれては、奮ってご応募いただきますよう、ご案内いたします。

1. ポスターの作成と掲示

ポスターは A0 縦サイズで作成して下さい。ポスターは応募者自身が 3 月 23 日のコアタイム前までにポスター会場のパネルに掲示してもらう予定です。掲示に必要な資材は学会が会場に準備いたします。

2. コアタイムでのポスター発表

優秀学生賞に応募された学生会員には、大会期間中のコアタイムにおいて、ポスター発表をしていただきます。コアタイム等の詳細は、プログラム公表に合わせて学会ホームページに掲載します。

3. 受賞者の選考

受賞者の選考は、講演要旨およびポスター発表に基づき、研究の独創性、正確性、応用への発展性等を総合的に勘案して、選考委員会が選考を行います。受賞者には、会長名で表彰状が授与されます。

4. その他

ポスターでの発表は、優秀学生賞応募者のみ可能です。優秀学生賞に応募しない学生会員および一般会員は、口頭発表にお申し込み下さい。

2024 年度春季大会におけるテーマセッションのご案内

企画委員会

テーマ：新たな土地利用型農業の構築に向けた持続型輪作体系の開発

概要：

我が国において二千年以上の歴史がある水稲作は、連作が可能であることから持続可能な生産様式といわれている。しかし近年、米の消費低迷を受け、水田の畑利用がこれまでより増して進められている。そのため、水稲の転換作物である麦、大豆の栽培年数が増加することで、水田の地力消耗による生産力の低下を引き起こし、収量が低迷することが懸念されている。また、これらの畑作物のほとんどを輸入に依存している。昨今の世界情勢の劇的な変化による作物の価格高騰や安定供給への懸念により、土地利用型作物の国内生産の強化が望まれている。加えて、これらの作物に限らず、飼料作物も同様の影響を受けており、特に濃厚飼料として利用されている子実とうもろこしは、ほぼ全量を輸入に依存していることから、その国産化は急務であり、土地利用型作物の安定かつ持続的な生産体系の構築が喫緊の課題である。このような課題に対し、生産者や普及指導担当者、作業技術分野などの開発を担う技術者や研究者の間で課題を共有し、現場で求められる技術を早急かつ確に開発、普及していく方策を検討するために本テーマセッションを開催する。

本テーマセッションの一部では、農林水産省委託プロジェクト研究（現場ニーズ型）「子実とうもろこしを導入した高収益・低投入型大規模ブロックローテーション体系の構築プロジェクト」（R5～R7）で実施中の研究課題について紹介する。

話題提供：（仮題）

1. 子実とうもろこしを導入した高収益・低投入型大規模ブロックローテーション体系の構築プロジェクト（農研機構東北農業研究センター）
2. 持続型輪作体系の構築に向けた土壌管理技術（東北大学）
3. 九州地域における子実とうもろこしを導入した輪作体系（（有）アグリベースにいやま（佐賀県神埼市）、農研機構九州沖縄農業研究センター）
4. 中山間地域における ICT 利用による持続型高能率輪作体系（（株）西部開発農産（岩手県北上市）、農研機構東北農業研究センター）
5. 総合討論 座長：東北大学 大谷隆二、コメンテーター：（有）盛川農場（岩手県花巻市） 盛川周佑

日時・会場：

3月23日（土）15時～17時

東北大学青葉山新キャンパス「青葉山コモンズ」大講義室（翠生ホール）

（仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1）